

付記4 「平和教育」との関連

(1) 広島と平和教育

被爆後70年が経過し、当時の様子を知る多くの方々は高齢化し、戦争体験の伝承そのものが難しくなっている。このような中で、私たちは次世代に、あるいは世界に、ヒロシマをどのように伝えていけばよいのだろうか。

広島における平和教育は、1960年代末、原爆体験の風化を憂慮した被爆教師の手によってはじめられ、広島の子どもたちだけではなく、日本に、世界に原爆の恐ろしさ、生命の尊さ、一人一人の人間の尊厳、平和の大切さなどを発信し続けてきた。このような学びを、未来へとつないでいくために、広島は平和教育を重視し、様々な取組を行ってきている。

(2) 社会科と平和教育

現行の学習指導要領では、社会科の目標を小・中学校ともに「・・・国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。」としている。つまり、平和について考え、行動できる市民を育成することが社会科の使命であると言える。

これを受け、広島社会科では、子どもたちがヒロシマを受け継ぎ、地球的視野で考え、社会へ参加・参画しようとする力をつけるために研究実践を重ねてきている。

国際平和文化都市広島で社会科を学んだ子どもたちは、人間として普遍的に大切な資質や能力である「国際平和文化創造力」(p.1参照)を身に付け、未来に向かって平和の担い手となっていくであろう。

以下は、平成23年の平和記念式典における子ども代表による「平和への誓い」である。

平和への誓い

今年、3月11日、東日本では、大震災によって、たくさんの方が命を失いました。今でも行方がわからない人がたくさんいます。

多くの方が大切な家族や友だちを失い、津波で何もかもなくなった被災地の姿に、わたしたちは言葉を失い、悲しく、胸が苦しくなりました。

66年前の今日、午前8時15分、広島に原子爆弾が投下されました。

爆風が何もかも吹き飛ばし、炎がすべてを焼き尽くし、人々の当たり前の生活と、多くの尊い命が一瞬にして奪われました。

どんなに苦しかったでしょう。

どんなにつらかったでしょう。

どんなにくやしかったでしょう。

わたしたち一人一人は、だれもがみな大切な存在です。

それなのに、どうして人間は、たくさんの方の命を犠牲にして戦争をするのでしょうか。

戦争を始めるのは人間です人間の力で起こさないようにできるはずですよ。

悲しみに満ちた広島に草木が芽生えました。

人々は、平和への強い思いをもって、復興に向けて歩みはじめました。

未来をつくるのは人間です。

喜びや悲しみを分かち合い、あきらめないで進めば、必ず夢や希望が生まれます。

わたしたちは、人間の力を信じています。

人間は、相手を思いやり、支え合うことができます。

人間は、互いに理解し合い、平和の大切さを伝え合うことができます。

わたしたちは、今を生きる人間として、夢と希望があふれる未来をつくるために、行動していくことを誓います。

平成 23 年(2011 年)8 月 6 日

※ 毎年広島市の小学校 6 年生を対象に「平和」についての作文を募集・選考し、入賞した 20 人により意見発表会・学習会を開催。世界に訴えたいことなどを発表するとともに話し合い、代表者二人が平和記念式典で「平和への誓い」として世界へ発信する。

この「平和への誓い」にみられるヒロシマの子どもたちのメッセージは、自分なりの考えをもち、それを表現しながら社会への参加・参画を考えようとする姿である。それは、未来に希望をもつ子どもたちの姿であり、広島の社会科がめざす子ども像である。

(3) 平和教育プログラムについて

広島市教育委員会は、平和教育を一層充実させるために、これまでの各学校における取組を体系化し、小学校から高等学校までの 12 年間を見通した平和教育プログラムを策定した。

本プログラムでは、児童生徒が、被爆の実相などの事実を捉え、その事実を通して未来を志向し、平和で持続可能な社会の形成者として必要な以下のような知識や能力などを身に付ける内容とする。

- ・ 被爆の実相や戦争等に関する知識
- ・ 課題を解決するための思考力・判断力・表現力
- ・ 自他を敬愛し、他者とよりよく関わる技能
- ・ 人や自然を尊重し、世界平和を愛する心情

また、本プログラムでは、焦点化した効果的な学習ができるよう、各学年、3～5 時間程度の学習ユニット(小単元)を設定し(図 1 参照)、「ひろしま平和ノート」に沿って取組を行う。

その主な内容は以下の通りである。

○ プログラム 1：小学校第 1 学年～第 3 学年

【被爆の実相に触れ、生命の尊さや人間愛に気付く】



ひろしま平和ノート
(小学校用)

国語科や特別活動、道徳の時間において、児童が絵本やテキストなどの教材を通して、被爆した当時の様子や人々の気持ち等に触れ自分や家族、友だち、動植物など生命あるすべてをかけがえのないものとして尊重し大切にすることを育てることのできる指導の内容とする。

○ プログラム2：小学校第4学年～第6学年

【被爆の実相や復興の過程を理解する】

国語科や社会科、特別活動、道徳の時間において、児童が被爆体験を聴いたり、テキストなどを活用し、国際平和文化都市をめざし復興を遂げてきた広島市の様子について調べたりするなどの学習を通して、被爆の実相について理解するとともに、郷土の発展に努めてきた人々に対する尊敬や感謝の念を深めることのできる指導の内容とする。

○ プログラム3：中学校

【世界平和にかかわる問題について考察する】

国語科や社会科、特別活動、道徳の時間において、生徒が被爆の実相をはじめ、国際社会の諸問題について、平和で持続可能な社会を形成するという観点から、教科書やテキストなどを活用して、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、自分の考えをまとめるなどの学習を通して、世界平和にかかわる問題について考察することができる指導の内容とする。

○ プログラム4：高等学校

【平和で持続可能な社会の実現について展望する】

国語科や地理歴史科、公民科、外国語科、特別活動、総合的な学習の時間などにおいて、生徒が社会背景や世界情勢等を踏まえ、被爆の実相をはじめ、国際社会の諸課題について、教科書やテキストなどを活用しながら、多面的・多角的に探究し、望ましい解決の在り方についての考察を深めるなどの学習を通して、平和の尊さや人間の尊厳についての認識を深め、平和で持続可能な社会の実現について展望することができる指導の内容とする。

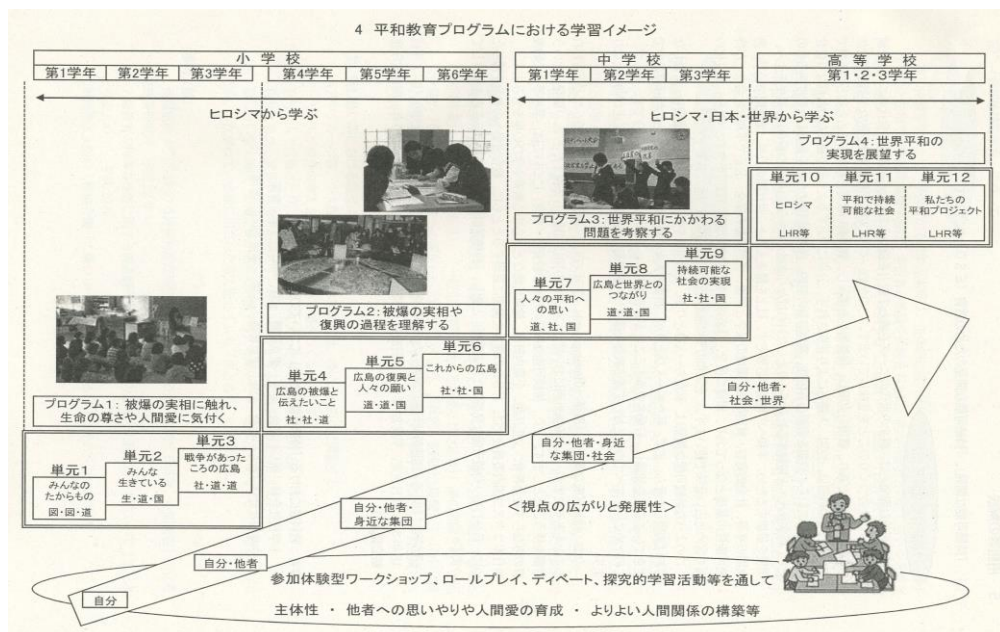


図1 平和教育プログラムにおける学習イメージ

表1に、「ひろしま平和ノート」の内容を紹介する。

表1 「ひろしま平和ノート」各学年の内容

テーマ 学習の流れ	学年	学習内容 *教科は例である
小学校1・2・3年 「いのち・しぜん・きずな」 気付く→考える→伝える	1年生	みんなのたからもの 学習1: ぼく・わたしのたからもの ~たからものをえにかこう~ (図画工作科) 学習2: ぼく・わたしのたからもの ~たからものをしょうかいしよう~ (図画工作科) 学習3: 金魚がきえた (道徳)
	2年生	みんな生きている 学習1: もっと草花となかよくなる (生活科) 学習2: アオギリ (道徳) 学習3: アオギリさんたちへの手紙 (国語科)
	3年生	せんそうがあつたころの広島 学習1: 子どもたちのくらし ~今と昔~ (社会科) 学習2: 家族のきずな (道徳) 学習3: 引きさかれる家族 (道徳)
小学校4・5・6年 「郷土ひろしま被爆と復興」 気付く→考える→発信する	4年生	広島のひばくと伝えたいこと 学習1: フラワーフェスティバルにこめた願い (社会科) 学習2: 広島のひばくと人びとのくらし (社会科) 学習3: 残したいもの・伝えたいこと (道徳)
	5年生	広島市の復興と人々の願い 学習1: 戦争・原子ばくだんがうばったもの ~ひばく者の思い~ (道徳) 学習2: 復興と人びとの願い (道徳) 学習3: 復興・発てんのない手として (国語科)
	6年生	これからの広島 学習1: 平和なまちづくり (社会科) 学習2: くらしの中の平和 (社会科) 学習3: より平和なまちづくりをめざして (国語科)
中学校 「受け継ぐ平和への思い」 知る→思考する→発信する	1年生	人々の平和への思い 学習1: お好み焼きに込められた思い (道徳) 学習2: 平和記念都市建設に込められた思い (社会科) 学習3: 自分たちの学校や地域社会の平和 (国語科)
	2年生	広島と世界とのつながり 学習1: 世界に広がっていったサダコと折り鶴 (道徳) 学習2: 国境を越えた「愛」と「勇気」 (道徳) 学習3: 平和のためのレシピ (国語)
	3年生	持続可能な社会の実現 学習1: 核兵器をめぐる世界の現状 (社会科) 学習2: 国際平和に向けての取り組み (社会科) 学習3: 平和で持続可能な社会に向けて (国語科)
高等学校 「ヒロシマ発持続可能な社会の実現」 情報整理→思考・探求→発信	1年生	ヒロシマ 学習1: 平和とは何か (LHR等) 学習2: 原子爆弾と被爆の実相 (LHR等) 学習3: 被爆体験者が伝えること ~中沢啓治さんからのメッセージ~ (LHR等)
	2年生	平和で持続可能な社会について 学習1: 核兵器について考える (LHR等) 学習2: ヒロシマに対する人々の思い (LHR等) 学習3: ヒロシマから国際社会へ (LHR等)
	3年生	私たちの平和プロジェクト 学習1: 平和の実現のために自分ができること (LHR等) 学習2: 私の平和プロジェクト (LHR等) 学習3: 私のめざす進路と「平和」 (LHR等)

<参考・引用文献>

- 広島市教育委員会『広島市立学校平和教育プログラム指導資料』, 2013年
- 広島市教育委員会『平和教育の指導資料—平和教育の指導計画試案—』, 2006年
- 県立広島大学, 地球市民共育塾ひろしま『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』, 県立広島大学, 2012年
- 広島市教育委員会『ひろしまへいわノート (小学校1・2・3年)』, 2013年
- 広島市教育委員会『ひろしま平和ノート (小学校4・5・6年)』, 2013年
- 広島市教育委員会『ひろしま平和ノート (中学校)』, 2013年
- 広島市教育委員会『ひろしま平和ノート (高等学校)』, 2013年